

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.1 窓口サービスの充実・事務改善

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3	4	3	—
B委員	3	4	4	市民が一番利用する窓口事務の改善は大切なものであり、改善の努力がされていると考える。これからもAIの活用など常に改善の努力を続けていただきたい。
C委員	3	4	4	この領域こそ、ICTやAIの活用によって飛躍的に効率化が可能な業務領域である一方で、高齢者向けのサービスは別の補完的手段を用意する必要があるかもしれない。
D委員	3	4	2	他の委員から「目標が単なる数合わせになっているのではないか」と意見があったが同感である。まず目標設定から見直してみてもどうか。
E委員	3	3	4	窓口サービスのデジタル化が、進んでいると考える。
F委員	3	4	3	—
G委員	3	4	4	—
H委員	3	4	3	—
I委員	3	4	3	アンケート調査結果を踏まえることによりと思いますが、利用時の問題点などをどのように対応するのかを考える必要があると思います。
J委員	3	4	3	—
平均値	3	4	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.2 市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3	3	3	—
B委員	3	3	3	情報は常に最新のものをより早く発信することが肝要であることから、あらゆるツールを使って、子どもから高齢者までに伝達できるよう、分かりやすい広報をお願いする。
C委員	3	3	2	市民生活に有益な情報提供を行政サービスの一環として捉えることは妥当であるが、市役所HPへのアクセス件数を成果指標とすることが果たして妥当なのか疑問である。HPへアクセスしなくても市民に情報が届いている可能性もあり、また安定した市民生活を送ることができている場合や行政への信頼がある場合、市民の行政情報への関心は低くなる可能性もある。
D委員	3	2	2	HPのアクセス数とSNSフォロワー数を一緒にしてしまうのは無理があると思う。
E委員	3	3	4	目標値の設定が、HPとラインなどが同等となっており、この点については改善が必要と考える。
F委員	3	3	3	—
G委員	3	3	3	—
H委員	3	2	3	目標指標の取り方を見直す必要がある。
I委員	3	3	3	—
J委員	3	2	3	—
平均値	3	3	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.3 市民協働の推進

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3		3	—
B委員	4		4	市民それぞれ関心事に違いがあることから、各種できるだけ広い範囲の項目で、市民の協働参画がしやすくすることを願う。
C委員	3		3	多くの自治体が様々な領域での「市民協働」や「協働まちづくり」の事例紹介を行っている。人口規模や予算規模によって事例数も異なってくるが、亀岡市の特徴的な取り組みである「セーフコミュニティ」「環境先進都市」「子どもファースト宣言」などに関連する特定領域の取り組みに市民協働を誘導しようとする、行政としての取捨選択があってもよいかと考える。
D委員	4		2	委員会や協議の実施が、どのように市民協働の推進に繋がるのかが良くわからなかった。
E委員	3		2	市民協働の推進が協議、ワークショップでは、実際の形として見えて来ない。改善が必要と考える。
F委員	3		3	—
G委員	3		3	—
H委員	4		3	実施事業が市域全体の市民活動にどのように繋がり活かされているのかがわかりにくい。 市民団体などの活動にかかる課題の抽出や、小さなコミュニティにおけるネットワーク化などへの支援も必要ではないか。
I委員	3		3	—
J委員	4		3	—
平均値	3		3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.4 公民連携によるまちづくり

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3		3	—
B委員	3		4	多くの企業、団体等と協定を結んでいることは市民にとっても心強く感じられる。これからも多くの分野での協定を生かした市民の目に見える還元（利益）をお願いする。
C委員	3		4	—
D委員	3		3	—
E委員	3		4	民間との協定を積極的に推進している点が評価できる。その効果を市民に見える形で発信することが望まれる。
F委員	3		3	—
G委員	3		3	—
H委員	3		4	—
I委員	3		3	—
J委員	3		3	—
平均値	3		3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.5 庁内連携システムの確立

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3		3	—
B委員	2		3	縦割りの組織を打開するためにも良い取組と評価する。ただし、これを活用していくには職員間の問題意識の共有や自ら何をすべきかという前向きなマインドが必要である。そのためには、達成感が得られるような成果・評価が大切だと思う。
C委員	3		3	通常業務の領域で無理に庁内連携を推進する必要はない。特別なプロジェクトごとに必要な連携を迅速な組織化で実現し、プロジェクト進行中には柔軟な組み替えを可能にするシステムの確立を期待したい。
D委員	2		3	—
E委員	3		3	ももクロや生成AIなどが評価できる。
F委員	2		3	—
G委員	3		3	—
H委員	2		3	緊急性の高い課題解決のために、短期間組織化されるものと考えてるが、その作業・検討の範囲を明確にして立上げ・終結していくこと。
I委員	2		2	プロジェクトチームが行う具体的な活動の状況が不明確である。
J委員	2		3	—
平均値	2		3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.6 人材の育成、職員研修の充実【①人材の育成、職員研修の充実】

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3	3	3	—
B委員	3	3	3	どの企業、組織も人が資本であり、人材の育成なくして成長なしと考える。職員がやる気、勇気、元気を持ってチャレンジできる風土づくりに資する取組を願う。
C委員	3	3	3	—
D委員	3	3	3	延べ受講者数が目標になっているので重複受講者があるようだが、能力の平準化のために、全対象者の受講率も目標の一つとされてはどうかと思った。
E委員	3	3	3	—
F委員	3	3	4	—
G委員	4	4	4	—
H委員	3	3	3	職員研修の充実内容がわかるよう、年度毎の重点目標や新規研修などの取組を明確に。
I委員	4	4	4	—
J委員	3	3	3	—
平均値	3	3	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.6 人材の育成、職員研修の充実
【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3	3	3	—
B委員	4	4	4	市民の健康、命を守る業務を担っており感謝している。これからも能力向上に努めていただき、市民の安全安心をお願いする。亀岡市立病院の看護師に親切丁寧な対応を受けたと関係者から聞いている。
C委員	3	3	3	—
D委員	4	4	3	—
E委員	3	3	3	市民に見える形で、実施している内容を伝えることが望ましい。
F委員	3	3	3	—
G委員	4	4	4	—
H委員	4	4	4	—
I委員	3	3	3	—
J委員	4	4	3	—
平均値	4	4	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.7 人事評価制度の運用

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3		3	—
B委員	3		3	人事評価は被評価者と評価者の信頼関係が良好であることが基本であり、日ごろからの関係が大切だと思う。マンネリ化してしまいがちなので、評価による気付きやモチベーション向上になる工夫の検討を願う。
C委員	3		3	人事考課制度の評価は、考課者および被考課者による匿名での評価に基づくことが望ましい。つまり、上司も部下も現行の人事考課制度の運営・管理に時間や手間を割いていることに対比して、それ以上の成果（チームの生産性の改善や個人のスキルアップなど）を実感しているのか否かを確認するべきと考える。
D委員	3		3	—
E委員	3		4	フィードバック面談が評価できる。給与が昇進に、成果が反映される明確なシステムを構築する必要がある。
F委員	3		3	—
G委員	3		3	—
H委員	3		4	個々の人事評価であるが、組織活性化に向けた制度であることにも留意が必要である。
I委員	3		3	—
J委員	3		3	—
平均値	3		3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.8 業務効率を高めるためのICTの活用

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	4	3	4	—
B委員	4	3	4	日進月歩で進歩している科学技術が、AIにより急速に業務に変化をもたらそうとしている。AIの活用を調査の上、積極的に導入していかなければならない時代になってきていると思う。
C委員	4	3	4	自前での推進には、現状では設備や人材の確保が難しいため、民間部門のサービスを活用していくことが妥当であると考ええる。
D委員	4	3	3	次の段階として、件数だけでは無くどのような工数削減に繋がったかを数値化できれば評価しやすい。
E委員	4	3	3	—
F委員	3	3	3	—
G委員	4	3	3	—
H委員	4	3	4	—
I委員	4	3	3	ICTの活用状況が進まない要因として何が考えられるのか。職員が利用する際に負担や問題点はないのか。
J委員	4	3	3	—
平均値	4	3	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.9 電子決裁の推進

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3		3	—
B委員	3		3	行政事務の迅速化と業務効率の向上のため必票と考える。これからも充実拡大に取り組んでほしい。
C委員	3		3	—
D委員	3		3	—
E委員	3		3	財務会計システムとの連動に際は、ミスがでないチェック機能を付加することが重要である。また、電子決済に向かない業務内容については明示し、業務区分を行う必要がある。
F委員	3		3	—
G委員	3		3	—
H委員	3		3	実施範囲を明確にしておく必要がある。
I委員	3		3	—
J委員	3		3	—
平均値	3		3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.10 経常的経費を含む事務事業の検証

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3	3	3	—
B委員	3	3	4	行政の継続性を確保するため必要不可欠であるので、これからも費用対効果などを検証し、限られた財源を最大化されるよう願う。
C委員	3	3	4	—
D委員	4	4	3	—
E委員	3	3	1	事務事業の見直しで、何を行なっているのかが書類から見えて来ない。 市民に明確に示す必要がある。
F委員	3	3	3	—
G委員	3	3	3	公共施設の必要・不必要を市民の目で検証してほしい。
H委員	3	3	3	—
I委員	3	3	3	住民により十分な説明をすることが求められる。
J委員	3	3	3	—
平均値	3	3	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.1 1 元金償還額を上回らない市債の発行

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3	3	4	—
B委員	3	5	4	起債発行については短期的には増減があることから、長期にわたる事業計画のもとで適正に管理していただき、健全財政の継続に努めていただきたい。
C委員	4	4	4	計画した水準以下に継続的に抑制されており、評価できる。
D委員	4	4	2	状況が変わったら長期計画の見直しも必要だと思う。
E委員	4	4	4	的確に実施している。
F委員	3	4	4	—
G委員	3	3	3	—
H委員	4	4	4	—
I委員	3	4	3	—
J委員	3	5	3	—
平均値	3	4	4	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.1 2 公共施設マネジメントの推進

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3	3	3	—
B委員	4	4	4	少子高齢化の社会的要因により、今後、人口減少する中で、施設の利用状況や維持管理にかかるランニングコストなどを精査いただき、市民一人にかかる将来負担が重くならないよう計画を進めていただきたい。
C委員	4	4	3	既存の公共施設は、それぞれが既得権益的な立場の組織や個人を生み出してはいるが、稼働状況や市政の将来ビジョンを考慮して、大胆な「取捨選択」あるいは「選択と集中」を決断しても良い。
D委員	3	3	3	—
E委員	3	3	3	スクラップ、ビルドが市民に見える形で示すことが重要となる。 必ずしも、マイナスが良いとも考えない。
F委員	3	3	3	—
G委員	3	3	3	子育てをメインに広域的に遊びの場を広げてほしい。
H委員	3	3	3	—
I委員	3	3	3	—
J委員	3	3	3	—
平均値	3	3	3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」

令和5年度行財政改革実施計画【行政改革推進委員会評価結果 集計表】

■No.13 受益者負担の適正化

	達成度			取組に対する意見、改善点等
	計画	目標	妥当性	
A委員	3		3	—
B委員	4		4	公共サービスは公平、公正にあるべきで、そのことから受益を受ける者に対する負担はサービスコストを常に精査のうえ、適正な料金設定を願う。その上で、減免や減額など利用者の状態等を考慮した制度の設計を願う。
C委員	3		3	—
D委員	3		3	—
E委員	3		3	必要な経費は、理由を示して求めることは妥当だと考える。
F委員	3		3	—
G委員	3		3	—
H委員	3		3	—
I委員	3		2	市による独自の基準も必要。それを住民に説明できるように努める取り組みが必要だと思う。
J委員	3		3	—
平均値	3		3	

※達成度… 「5：非常に高い」「4：高い」「3：普通」「2：低い」「1：非常に低い」